

(様式3)

プロポーザル業務提案書

平成 28 年 8 月 26 日

(あて先)

富士市長 小長井 義正 様

(提出者) 住 所 富士市蓼原 1190 番地の 1
リバーサイド富士Ⅱ-401 号
電話番号 0545-32-7980
団体名 NPO 法人富士市のごみを考える会
代表者 小 川 浩 印

下記の業務を受託したいので、業務提案書を提出します。なお、別紙業務提案書の記載事項について事実と相違ないことを誓約します。

記

業務名：(仮称) 3R 協働活動プラットフォーム立ち上げ支援業務委託

業務提案書：別紙のとおり

様式 No	(様式名)	参加者 チェック欄	受領者 チェック欄
様式 4	貴団体の概要及び過去に受注した類似又は同類業務実績等		
様式 5	業務実施体制		
様式 6	本業務の実施方針及び提案する業務概要		
様式 7	特定テーマに対する提案		
様式 8	業務見積書		

注) 提出様式の添付漏れ、記載漏れ等不備がないことを確認してください。

チェック欄には確認者の押印をしてください。

(様式4)

貴団体の概要及び過去に受注した類似又は同類業務実績等

(1) 団体の概要

団体の名称	NPO 法人富士市のごみを考える会
代表者職・氏名	小 川 浩
設立年月日	平成 16 年 1 月 6 日
職員数	役員 14 名 会員 26 名 専従職員 0 名
団体の活動目的	NPO 法人富士市のごみを考える会は、富士市民に対して、環境の保全に関する事業を行い、富士市の環境の保全に寄与することを目的とし、この目的を達成するために、「ごみの排出抑制及びごみの適正処理に係る事業」を行う

(2) 過去に受注した類似又は同類業務実績等

業務名	補助金交付	発注機関	静岡県、富士市
契約金額	237,500 円	履行期間	H25-6/12-H26-1/24
業務形態	委託業務 ・ 補助事業 ※いずれかに○		
<男女共同参画地域活動パワーアップ事業> (静岡県) <富士発・女男のフォーラム事業> (富士市)			
業務の概要	<ul style="list-style-type: none">● NPO法人で運営されている他市のリサイクルプラザの見学 (京都市 みやこエコロジーセンターの視察研修)● 施設運営の方法や事業内容の学習● 施設運営における人材、必要能力等々の学習● 県民への普及啓発		
貴団体の果たした役割、成果等	<ul style="list-style-type: none">● バスの中での事前学習会、意見交換、討論や学習を行ったことで、参加者一人ひとりが視察の目的をもって、視察をすることができた● 視察後も各班で集まりを持ち、報告集までを作り上げた● 一人ひとりが自分たちの提案に自信を持つことができた● さらに仲間を増やしていこうという行動意欲が生まれた		

注) 複数ある時は適宜表を追加してください。

(様式5)

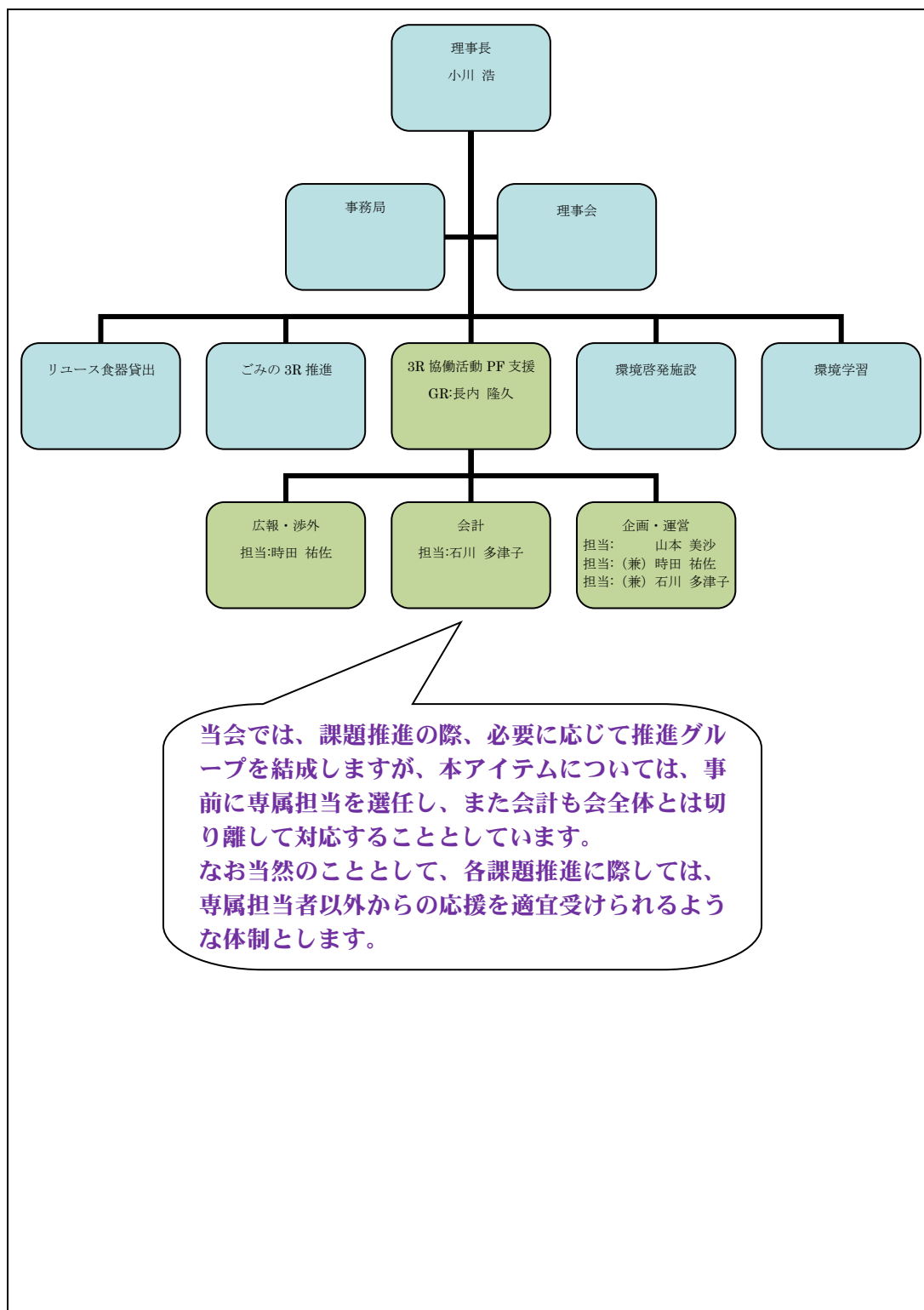
業務実施体制

(1) 総括責任者及び担当者

区分	職・氏名	経歴・実績・専門等	本業務において 担当する業務
総括責任者	理事長 小川 浩	<ul style="list-style-type: none">● 常葉大学教授● 汚水処理施設・浄化槽に関する調査研究● 工学博士（環境科学）● 環境計量士	最終決定、総括責任者
担当者	長内 隆久	<ul style="list-style-type: none">● 東洋大大学院卒● 地球温暖化・エネルギーに関する普及啓発● 自治体環境政策、エネルギー・気候変動問題	グループ統括
	時田 祐佐	<ul style="list-style-type: none">● 静岡大学工学部卒● 富士市環境アドバイザー● 富士市ごみマイスター	広報・渉外 企画・運営（兼）
	石川 多津子	<ul style="list-style-type: none">● 民間会社で 22 年間、事務職（一般事務・人事総務事務）の経験あり	会計 企画・運営（兼）
	山本 美沙	<ul style="list-style-type: none">● イベント企画	企画・運営

注) 枠が不足する場合は適宜追加してください。

(2) 提案する業務を実施するための体制



注) 業務体制を図式化して記載してください。外部の協力会社等(外注先)がある場合はそれについても記載してください。

(様式6)

本業務の実施方針及び提案する業務概要

(1) 実施方針

●活動目的<委託事業の目的そのもの>

市民へ環境啓発施設に関するPR活動を行うとともに、その運営を担う人材の発掘・育成を行い、環境啓発施設の運営を行う団体の土台を作ること

(活動目的を達成するための具体的な方針)

- ① **市民参加による市民の知識・経験・意見等を集約する場【プラットフォーム：(仮称) Fuji Eco市民会議】**を立ち上げるため、市の広報誌やWebサイトを活用するだけでなく、当法人が持つネットワークを駆使して**参加者を呼びかける**
★強み：**当法人と繋がっている市民活動家等との人脈・ネットワーク**
- ② (仮称) Fuji Eco市民会議では、**ワークショップや施設研修、体験学習等**を通じて、環境啓発施設の運営に必要な**情報の整理と人材の発掘・育成**を行う
★強み：**様々なオリジナルの体験学習・講演会の実績 市内外の環境啓発施設の施設視察研修、富士市への提言実績**
- ③ (仮称) Fuji Eco市民会議で得られた幅広い市民からの意見を**WebやSNS等を活用して発信**し、市内外からの意見も取り入れる
★強み：**当法人のWebサイト及び、SNS (Face bookやLINE等)を運営**

(2) 実施する業務概要

まずは、事務局内で「論点整理」、「タタキ台作成」、「事前に委員に提起」し、本会議での議論の凝縮化を目指す

① 方向性・あり方の検討

・実施する業務の具体的内容

- (仮称)Fuji Eco市民会議やワークショップ等の議題案作成のための勉強会の開催
- 先進環境啓発施設への視察研修
- 環境啓発施設の運営ノウハウに関する講演会の開催

・狙いとする効果や成果

- より緻密で具体的な策を練ることができる
- 効果的な体験学習の実施

・実施期間、回数等

- 勉強会 (9月～2月) 月2回開催 (全12回)
- 施設見学・研修 (9月～11月) 全2回
- 講習会 (9月～11月) 全2回

② 3R協働活動プラットフォームの立ち上げ

・実施する業務の具体的内容

- 市の広報誌やWebサイトを活用するだけでなく、**富士市内で活動する環境関連団体・個人への呼びかけ**を行い、(仮称)Fuji Eco市民会議**設立準備会議**を開催

・狙いとする効果や成果

- **多角的な意見を取り入れ、環境啓発施設の運営方針を練ることができる**
- 人材の発掘

いきなり全体会議設立は困難だろうから

・実施期間、回数等

- 設立準備会議 (9月～10月) 全2回実施

③ 3R協働活動プラットフォーム運営

・実施する業務の具体的内容

- (仮称)Fuji Eco市民会議の開催
- ワークショップの開催
- 体験学習の開催

設立準備会議で新たなメンバーからの新たなメンバーの推薦を受け、再度呼び掛けを行い、新たなメンバーの参集を踏まえて、全体会議を開催

・狙いとする効果や成果

- 環境啓発施設運営に関する市民意見の集約
- 人材の発掘と育成
- 環境に関する新たな気づきと行動

・実施期間、回数等

- Fuji Eco市民会議 (10月～3月) 全3回開催
- ワークショップ (10月～2月) 全2回開催
- 体験学習 (10月～2月) 全2回開催

市民への広報活動は常に行うが、市民への周知の方策は、SNSをしくすることは当然であるが、在来型の人種に対しての方策も必ず含むものとする。

④市民へのPR活動

- ・実施する業務の具体的内容
 - 広報ふじへの掲載
 - SNSを使ったPR (facebook、LINE、ブログ、Web)
 - 富士市環境フェア等の市内イベントへの出展
[市民1,000人対象にアンケート調査の実施]
- ・狙いとする効果や成果
 - 環境啓発施設運営に関する周知
 - 情報集約と発信
- ・実施期間、回数等
 - 広報ふじへの掲載 (10月～2月) 全3回開催
 - SNSを使ったPR (9月～3月) 随時
 - 市内イベントへの出展 (10月～2月) 全4回開催

⑤今後の活動計画の取りまとめ

- ・実施する業務の具体的内容
 - 7か月間の活動を取りまとめ、次年度の活動方針案を作成
 - 整備運営事業者との話し合い
 - (仮称)Fuji Eco市民会議を母体にした環境啓発施設運営団体設立の準備
- ・狙いとする効果や成果
 - 運営に向けた具体的な活動案の取りまとめ
 - 運営母体の準備組織の立ち上げ
- ・実施期間、回数等
 - 取りまとめ (1月～3月) 随時

⑥業務報告書の取りまとめ

- ・実施する業務の具体的内容
 - 業務成果の内容を総括し、取りまとめる
- ・狙いとする効果や成果
 - 次年度以降の方向性を富士市と共有
- ・実施期間、回数等
 - 取りまとめ (2月～3月) 随時

注) ①～⑥について、実施する業務の具体的内容と狙いとする効果や成果、実施期間等について、貴団体の提案を簡潔に記載してください。なお、適宜行数を追加してください。

(様式7)

特定テーマに対する提案

(1) 特定テーマ1

テーマ1 市民参加のプロセス

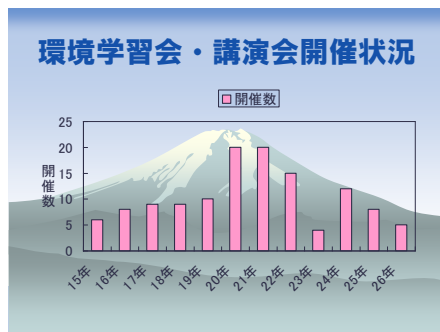
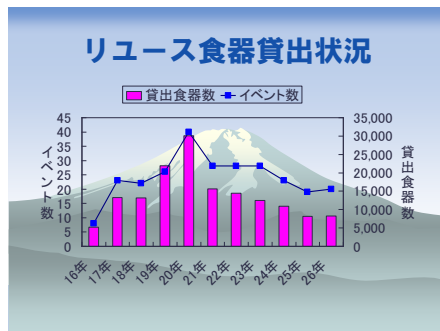
環境啓発施設をより魅力的で、意義深いものとするためには、専門的に活動してきた方の意見（市民活動家の方々の意見）と、これから先、実際に施設を利用していく市民の意見を取り入れていくことが重要であると考えます。

私たちごみを考える会は、富士市で唯一、ごみの適切な処理や減量を実現するための活動を行って参りました。富士市に対する提言により、ゴミ袋の変更やプラスチックごみや衣類の分別回収を実現させたとともに、リユース食器の貸し出しや小学校での環境学習の実施、廃材を使った箸づくりなどの体験学習の開催などを通じて、環境やごみの減量の大切さを市民に伝える活動も行って参りました。

長きにわたり、ごみについて考える活動を行う中で、当団体は

- ①専門性の高い人間や団体とのネットワークを確立し、
- ②それを分かりやすく市民に伝えるノウハウを身に付けて来ました。

この二点の強みを生かし、ネットワークを駆使し、専門性の高い人々からなる（仮称）fujiEco 市民会議を実施し、体験学習やワークショップで市民の意見をすくい上げ、新たに設置する環境啓発施設をより市民の生活に則したものにしていくとともに、新たな担い手となる人物の発掘や育成を行って参ります。



注) テーマに対する業務提案をA4用紙1枚にまとめてください。

(2) 特定テーマ2

テーマ2 人材発掘・人材育成の考え方

環境啓発施設が市民に受け入れられ、頻繁に利用されるものとなるためには、いままで環境やごみ問題について取り組んできた者だけでなく、一般の市民の力を取り入れることが不可欠であると考えます。そのため、**幅広い年代や嗜好の市民が集まり、意見交換できる場（ワークショップ）の開催と、体験学習を実施**致します。

しかし、ただ開催するだけではとりとめのない、無駄なものになってしまう可能性があります。環境啓発施設をより良いものとするための意見を集め、ひいては集まった市民から実際に運営に携わる人間を発掘し、育成していくことが大きな目的となります。

当団体では、これまで体験学習を企画・運営してきたノウハウがあり、体験学習を実施する目的に合わせた企画立案力、実行力があります。また、環境アドバイザーの資格を有する会員も多数在籍しており、ワークショップではオブザーバーとして市民の意見をすくい上げることができるかと思えます。

約半年間の業務活動の中で、多くの市民が環境啓発施設に興味をもつきっかけづくりをし、一部の人間だけが関わるのではなく、市民の視点で施設運営を考えることのできる土台づくりをしています。



みやこエコロジーセンター研修



同報告会風景

オリジナルのマイ箸作り体験参加者
＝富士市の富士北まちづくりセンター＝

NPO法人富士市のごみを考える会と共催の交流会議は31日、親子体験「ヒノキ間伐材でお箸を作ろう」を同市の富士北まちづくりセンターで開催。

地元産木材の「富士ヒノキ」の間伐材の有効利用を目的に実施。同市の大工が講師を務め、親子連れ約100人が参加した。参加者はヒノキの角材を木型に当てはめてカンナで削り、やすりで丁寧に仕上げオリジナルの箸を作った。

市立丘小5年生の工藤綾夏さん(11)は「自然の良い香りがする」と話した。参加者は余ったかんなくずも持ち帰り、芳香剤などとして香りを楽しんだ。

団体は「富士発・男(ひと)と女(ひと)のフォーラム」の一環。

親子箸作り体験
富士

～富士発・女と男のフォーラム～
平成27年度 富士市男女共同参画推進事業

Mottainai
ヒノキの間伐材を使って
親子で「おはし」をつくろう!

いい箸のするとは間伐材が使われていない、もったいないね。
家族で力を合わせて、ヒノキの間伐材で、自分だけの「はし」を作っちゃおう!

大工さんに教わりながら、「かんなくず」を思い、ヒノキの間伐材を使って、家族で力を合わせていい箸の「はし」を作っちゃおう!
ご家族でも大人だけでも参加出来ます!

ご依頼いただく大工さんと講師

- ・大 師 (渡邊 勝徳さん)
- ・天野工機店 (天野 康徳さん)
- ・マルダイ (石井 文康さん)

日 時：平成28年1月31日(日)
第1部：9時半から 第2部：10時半から
場 所：富士北まちづくりセンター(3F5F6F)
参加費：1膳50円 すべてのお申し込みになります!
電話でお申し込みください。080-1559-4318(任意)、090-1476-7373(平田)
主 催：きり交流会議 富士市のごみを考える会 富士市

参加者(100名)にアンケートをお願いし、まとめを今後に生かしている。その中から、協力者も出てきている。

注) テーマに対する業務提案をA4用紙1枚にまとめてください。

(様式8)

業務見積書

	金額 (円)	算出根拠等	備考
1. 直接人件費	1,044,000		別添見積書参照
2. 事業費	862,870		別添見積書参照
3. その他諸経費	0		※事業費のうち率計上するもの
4. 交通費	39,000		別添見積書参照
5. 一般管理費	213,500		別添見積書参照
6. 消費税額	172,750	8 %	別添見積書参照
合計	2,332,120		

注) 貴団体の任意様式での見積書において積算根拠 (人工数、直接経費等の明細) を明らかとする場合は、金額欄を記載の上、算出根拠等欄には「別添見積書参照」と記載してください。